

【保護者・地域の皆さんへ】

元気な自分で過ごすために～自分の命を守って～

*** 今回、終業式（7/21）の前日に学校だよりを配付します。**

保護者、家族、地域の皆さん、1学期間、本当にありがとうございました。ウィルス禍の困難な状況の中ではありましたが、子どもたちは大きな事故や怪我なく、毎日しっかり学習し、健やかに学校生活を送ってきました。それは、家族・保護者、地域の皆さんのご協力のおかげです。子どもたちの学力や心の面での成長、挨拶力やコミュニケーション力の向上も見られ、とても嬉しく思っております。

【終業式の話〔予定〕】

日本や世界にとって大変な時期は続いています。そういった中で1学期が無事終わろうとしています。みんなの努力や頑張りに感謝しています。学習面でも生活面（心）でも成長してくれました。



そんな1学期に頑張ったことを思い出して（振り返って）みよう。

まず「日々の学習」や「大運動会」。授業では、タブレットや電子黒板も使った。運動会前のグラウンドの草取りにはたくさんの人が参加してくれ、おかげで運動会も大成功。運動会ではみんな全力を尽くしたし、係の仕事もこなしてくれた。自然教室、校外学習、調べ学習、キャリア教育では、人とのかかわる力や挨拶力を伸ばしたし、加茂西小との交流会では新たな友達も増やした学年もあった。そうじ、委員会、クラブでは生き生きと活動し、またお互いを認め合う学級づくりの中では各教科の学習をとおして学びを深めた。縦割りのスマイルチームで遊んだのも楽しかった。安全な登下校・自転車乗りのために交通安全教室に参加した学年があったね。自転車は横断歩道では、一旦降りて、自転車を引いて渡る約束でした。歩いている時、道路に出るところでは一旦止まって、自分の目で左右の確認をしてから手を上げて渡ることも確認したね。避難訓練・引き渡し訓練では、真剣な姿を消防署の方にほめてもらった。セーフティ・スタッフさんとの面談会、読み聞かせボランティアの皆さんには感謝の心・思いを伝えた。昼休みの「遊び」やぜっこうちょうランドでも楽しんだり喜んだり…。

昨年やっていないから、「今年初めて」とか「久しぶり」とか。分からなくて大変なことがたくさんあったにもかかわらず、それに負けず、いしかわっ子は「できること」をしっかりとやってきたんだよ。大人になった時、今の努力や頑張りが、きっと思い出されることでしょう。

今日は「通知表」が配られました。そこにはみんなが伸びた所や輝いていた所、優しさやリーダー性など心の部分、これからさらに期待していることなどが書かれています。担任の先生からのメッセージをしっかりと読み、夏休み、2学期～3学期、次の学年につなげてください。いつも言いますが、6年生は小学校最後の夏休みになります（小学校生活もあと8か月）。最高の夏休みにしてほしいと願っています（5年生も8か月後には最高学年です）。

毎年、夏休み前、二刀流のお願いをしています。アメリカメジャーリーグで活躍中の野球の「大谷選手」。彼は大変優れた野球選手で、バッターでもピッチャーでも凄い人。そういうのを「二刀流」と言い、二刀流の1つ目は、「研究・学習・読書・遊び・工作」など、夏休みしかできないことで自分を成長させる。二刀流の2つ目は、家庭（家族）の一員としての力をつける。分かりやすく言えば、家の「仕事」をして！と、今年もみんなにお願いしたい…。

でも、もう1つ、「追加のお願い」があります。それは、自分の「命」を大事にすること。新型コロナウイルスの心配は、まだ「0」とは言えません。車や自転車、不審者やネットゲームの危険もあります。夏休みは、自分の「命」が守れるようしっかりと考え行動してください。

私の1番の願いは、2学期開始の8月27日に「みんなが学校に来る」ということ。「研究や勉強」と「遊びや仕事」などの二刀流で頑張るには、全てにおいて「元気な自分」（命）が必要です。どうか、「新型コロナウイルス」「車や自転車」に気を付けて、毎日過ごしてください。

それでは、「充実した、安心・安全な夏休みを！」。8月27日に会いましょう。